

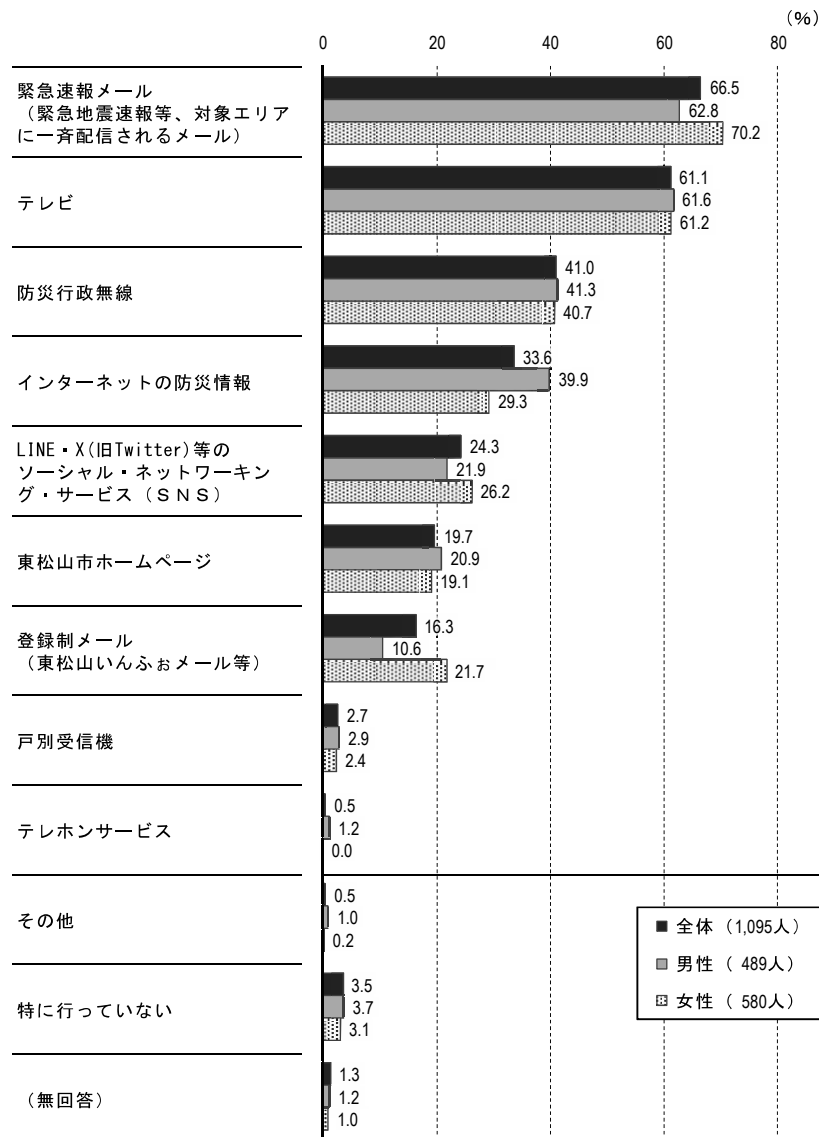
6 防災・減災の分野について

6-1 防災情報の取得方法

問13. あなたは、災害時の防災情報(避難情報)をどのように取得していますか。
【〇はいくつでも】

「緊急速報メール」66.5%、「テレビ」61.1%

防災情報の取得方法（全体・性別）

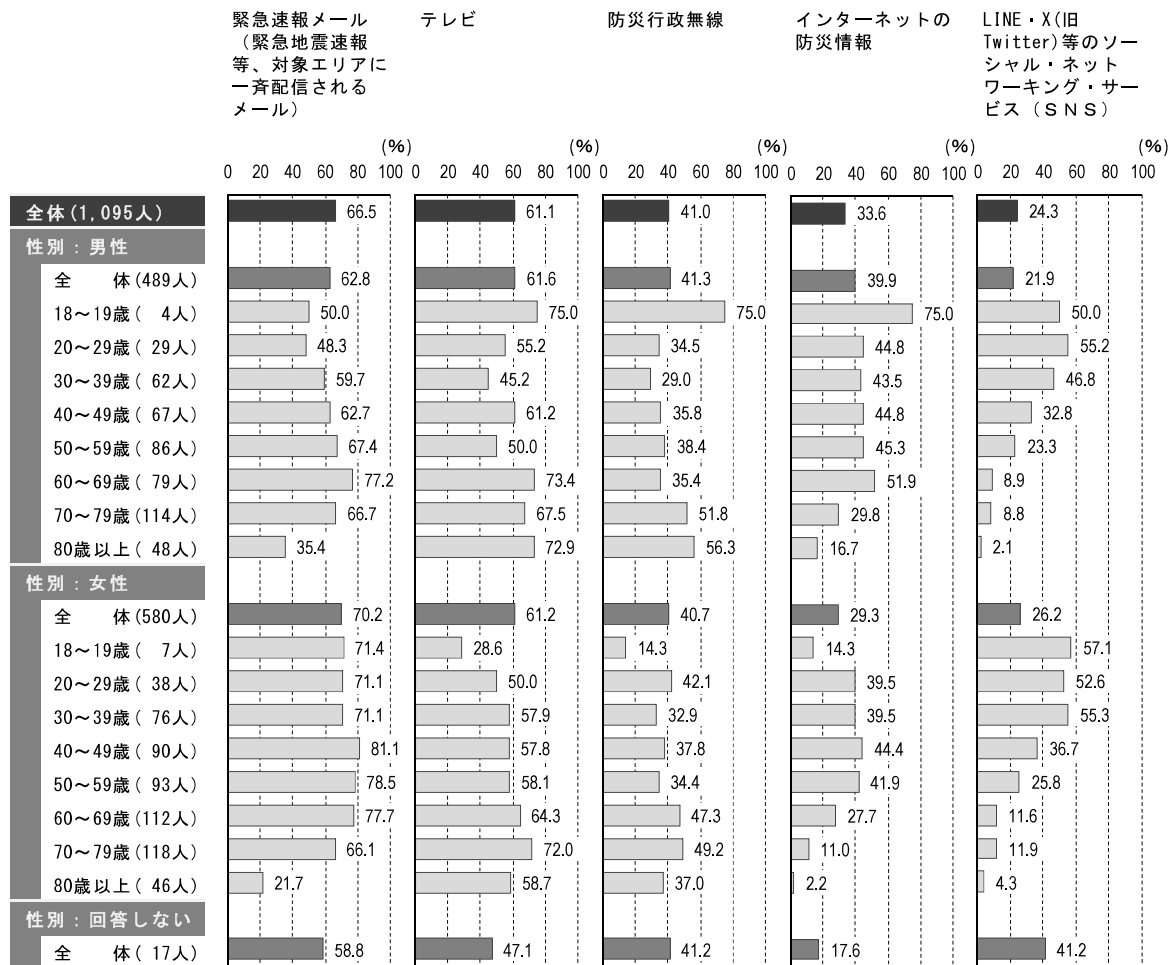


【全体】では、「緊急速報メール（緊急地震速報等、対象エリアに一斉配信されるメール）（66.5%）」の割合が6割台で最も高く、次いで「テレビ（61.1%）、防災行政無線（41.0%）」が続いています。

【性別】では、上位3項目は【全体】と変わらず、男性の割合は62.8%、61.6%、41.3%、女性の割合は70.2%、61.2%、40.7%となっています。

また、「インターネットの防災情報」は男性（39.9%）が女性（29.3%）より10.6ポイント、「登録制メール（東松山いんふおメール等）」は女性（21.7%）が男性（10.6%）より11.1ポイント高く差がみられます。

防災情報の取得方法（上位5項目：性別・年代別）



【性別・年代別】では、回答数の少ない「男性・18～19歳（4人）、女性・18～19歳（7人）」を除き、割合が【全体】より目立って高いものは「防災行政無線」の「男性・80歳以上（56.3%）」、「インターネットの防災情報」の「男性・60～69歳（51.9%）」、「LINE・X(旧Twitter)等のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」の「女性・30～39歳（55.3%）、男性・20～29歳（55.2%）、女性・20～29歳（52.6%）」などとなっています。

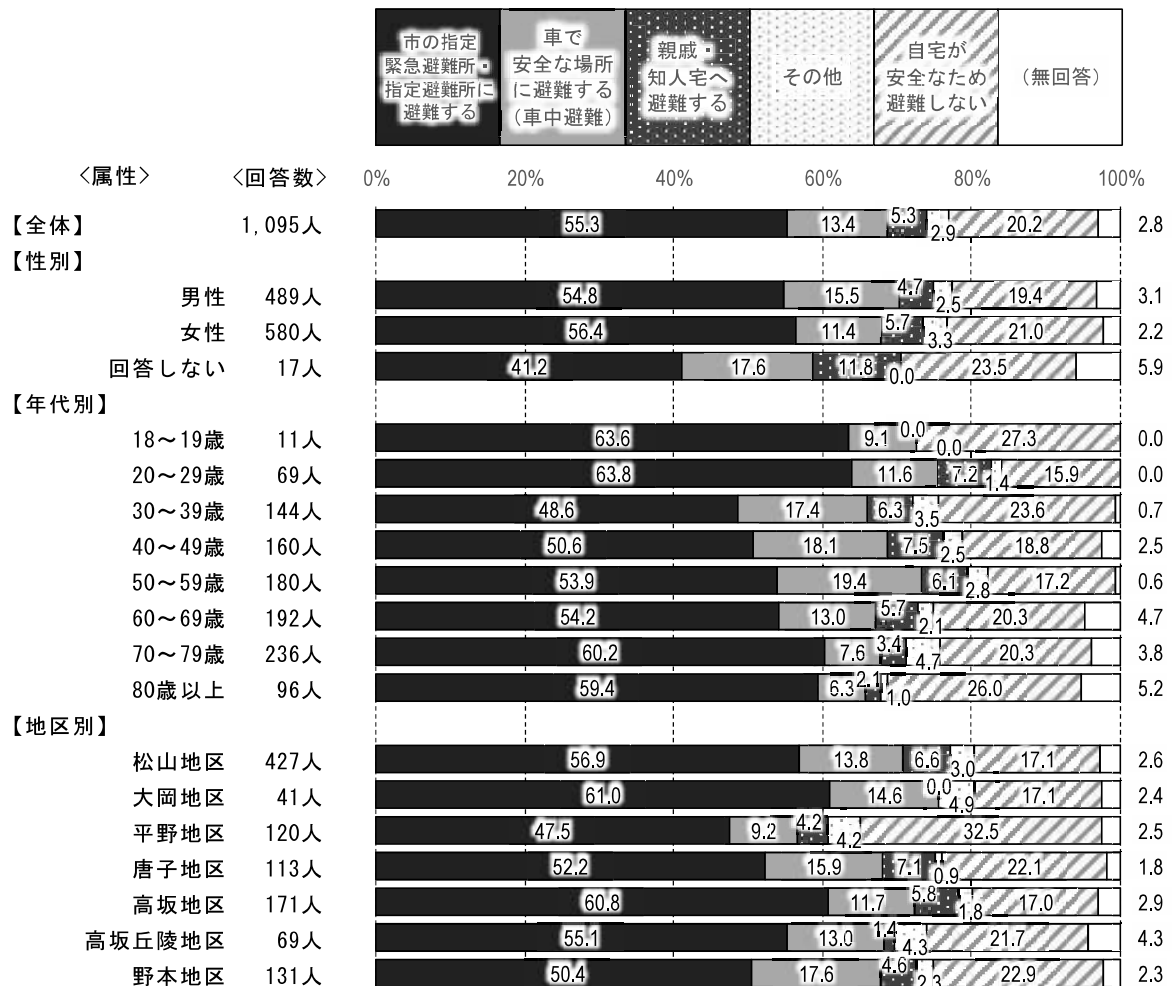
また、「LINE・X(旧Twitter)等のソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）」の男女は、年代が上がるごとに割合が低下する傾向がみられ、60歳以上では極端に割合が低下しています。

6-2 避難行動を求められたら主に行うこと

問14. あなたは、避難行動を求められたら主にどのように避難を行いますか。【○は1つ】

「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」55.3%

避難行動を求められたら主に行うこと



【全体】での割合の高い項目は順に、「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する（55.3%）」が5割台、「自宅が安全なため避難しない（20.2%）」が2割強、「車で安全な場所に避難する（車中避難）（13.4%）」が1割台、「親戚・知人宅へ避難する（5.3%）」、「その他（2.9%）」が1割未満となっています。

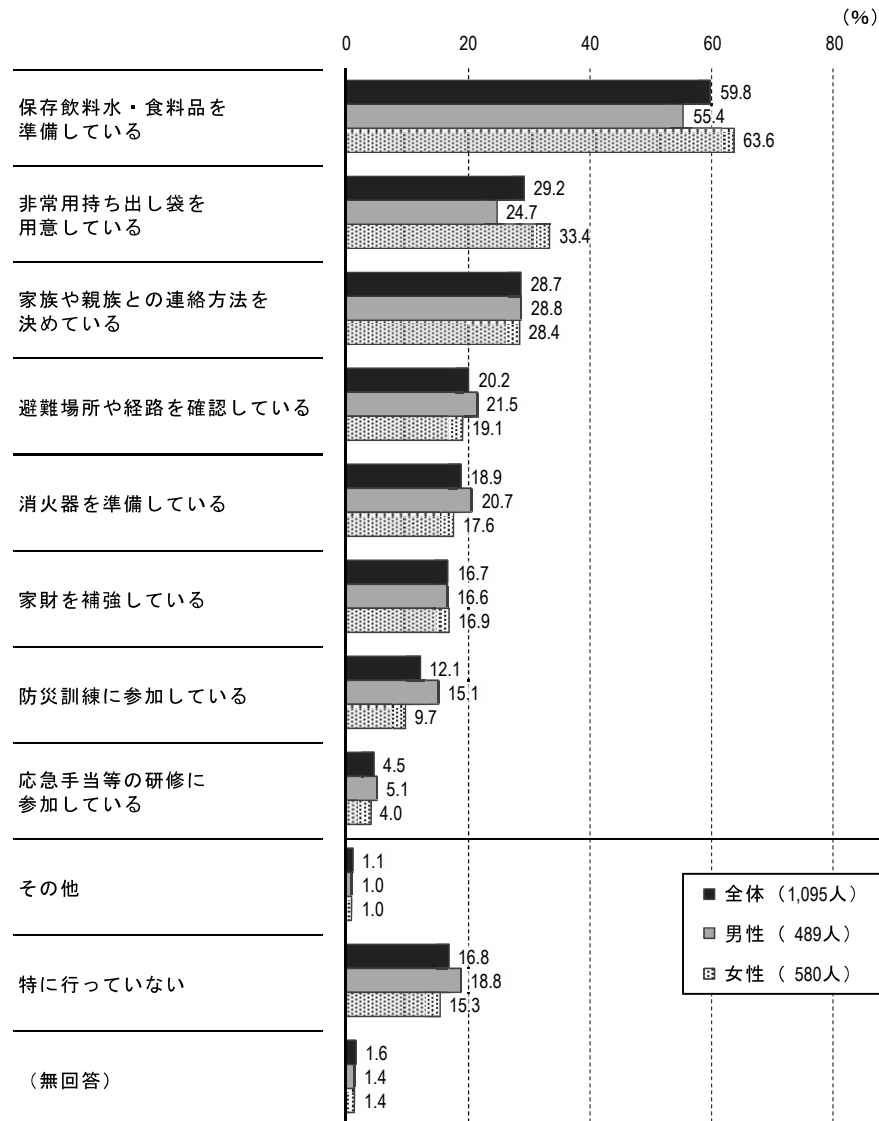
属性別で【全体】より目立って差のみられるものは、「自宅が安全なため避難しない」の【地区別】平野地区（32.5%）が12.3ポイント高い一方、「市の指定緊急避難所・指定避難所に避難する」の【性別】回答しない（41.2%）が14.1ポイント低くなっています。

6-3 災害に備えて行っていること

問15. あなたは、日頃から災害に備え、どのようなことを行っていますか。【〇はいくつでも】

「保存飲料水・食料品を準備している」59.8%

災害に備えて行っていること（全体・性別）

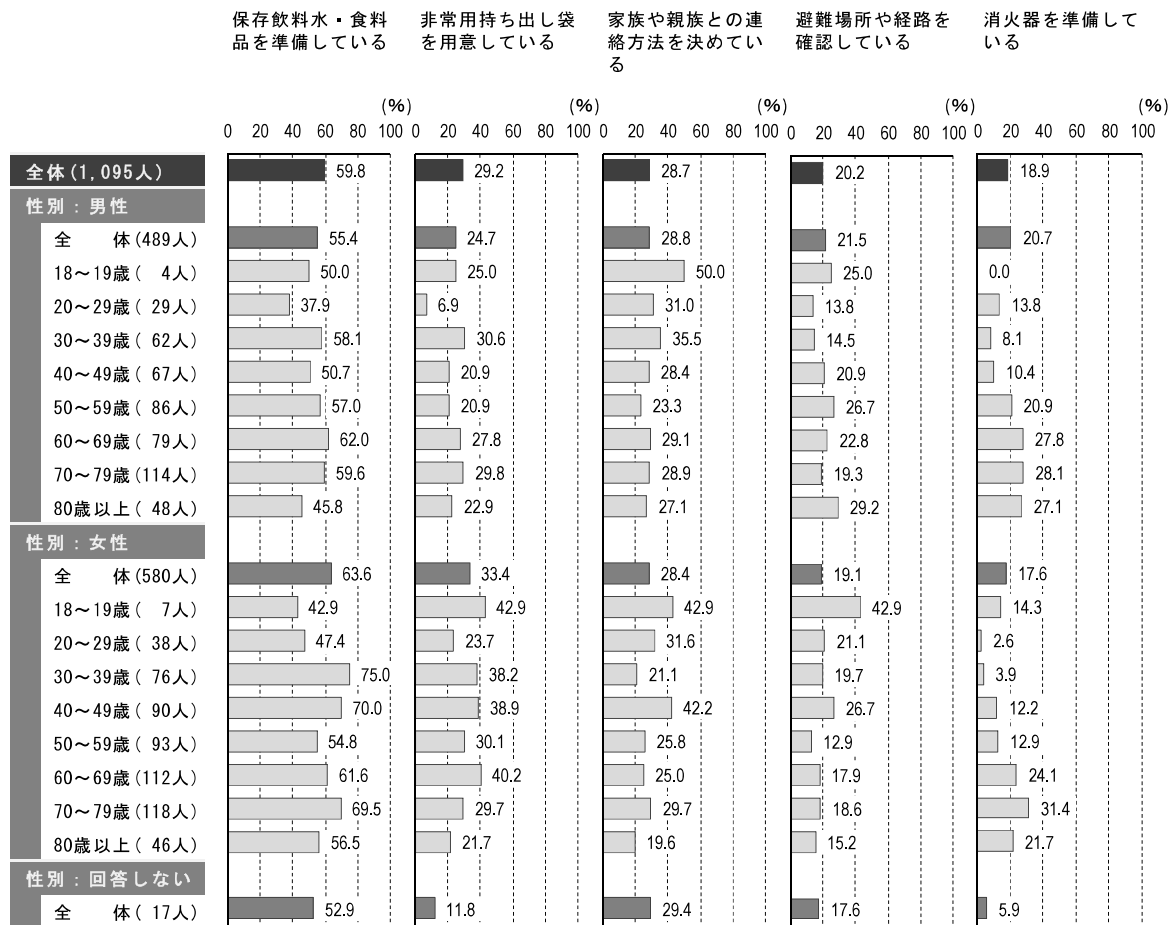


【全体】では、「保存飲料水・食料品を準備している（59.8%）」の割合が6割弱で最も高く、次いで「非常用持ち出し袋を用意している（29.2%）」、「家族や親族との連絡方法を決めている（28.7%）」が続いています。

【性別】では、男性は「保存飲料水・食料品を準備している（55.4%）」、「家族や親族との連絡方法を決めている（28.8%）」、「非常用持ち出し袋を用意している（24.7%）」の順に高く、女性の上位3項目は【全体】と変わらず、割合は63.6%、33.4%、28.4%となっています。

また、「非常用持ち出し袋を用意している」は女性（33.4%）が男性（24.7%）より8.7ポイント、「保存飲料水・食料品を準備している」は女性（63.6%）が男性（55.4%）より8.2ポイント高く差がみられます。

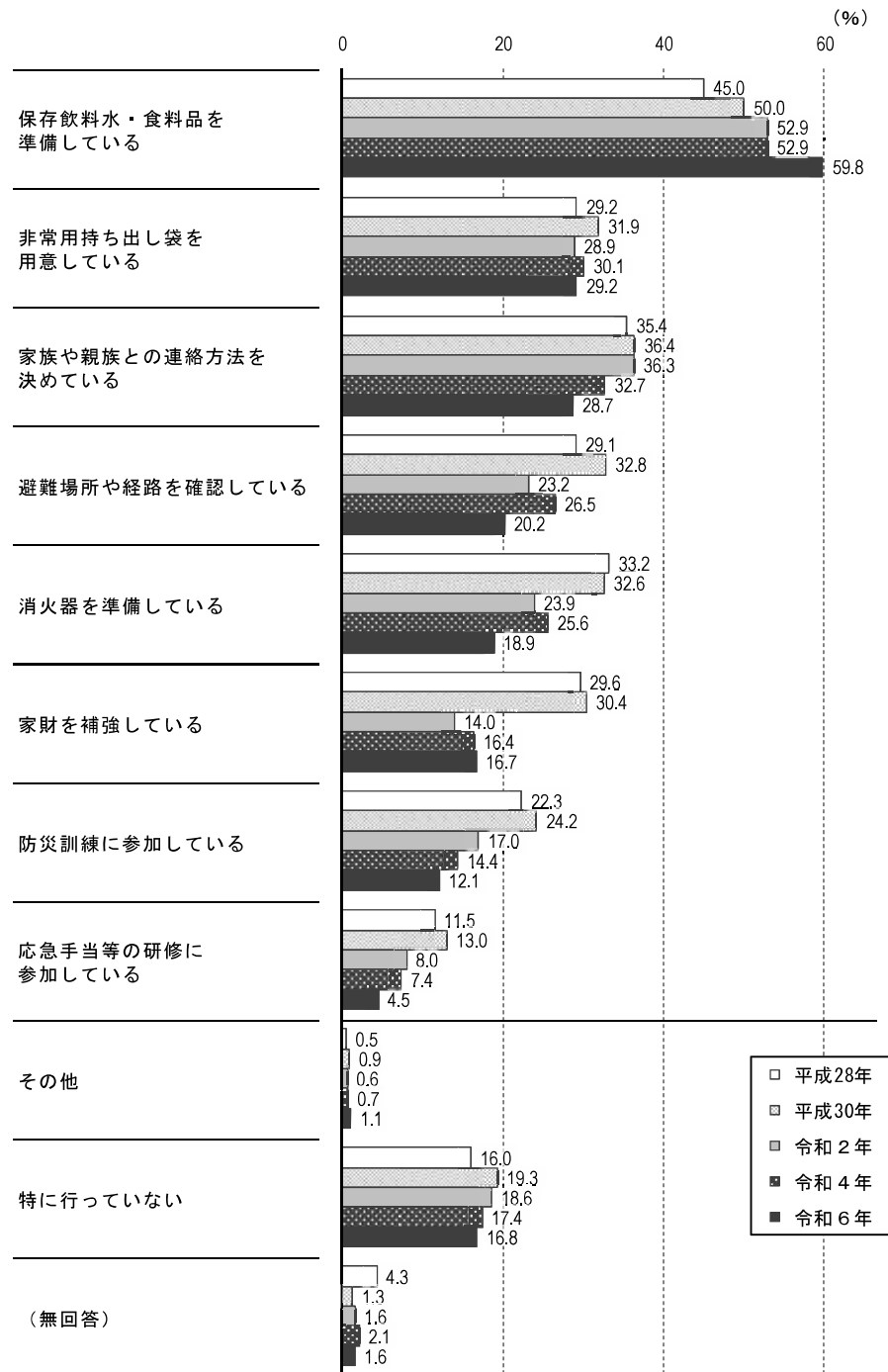
災害に備えて行っていること（上位5項目：性別・年代別）



【性別・年代別】では、回答数の少ない「男性・18～19歳（4人）、女性・18～19歳（7人）」を除き、割合が【全体】より目立って高いものは「保存飲料水・食料品を準備している」の「女性・30～39歳（75.0%）、女性・40～49歳（70.0%）」、「非常用持ち出し袋を用意している」の「女性・60～69歳（40.2%）」、「家族や親族との連絡方法を決めている」の「女性・40～49歳（42.2%）」、「消火器を準備している」の「女性・70～79歳（31.4%）」などとなっています。

また、「非常用持ち出し袋を用意している」の「男性・20～29歳（6.9%）」は、他の年代が2割を超えているところ1割未満と低くなっています。

災害に備えていること（経年比較）



【経年比較】では、直近5回の調査で「保存飲料水・食料品を準備している（59.8%）」は令和6年が最も高く、年を追うごとに割合が上昇しています。一方、「家族や親族との連絡方法を決めている（28.7%）、避難場所や経路を確認している（20.2%）、消火器を準備している（18.9%）」など5項目は最も低く、年を追うごとに割合が低下する傾向がみられます。

平成30年以降、「特に行っていない」の割合が年を追うごとに低下しているのと合わせ、災害への意識と備えに対する変化がみられます。

また、前回（令和4年）と比較して差がみられたのは、「保存飲料水・食料品を準備している（59.8%）」が6.9ポイント高く、「消火器を準備している（18.9%）」は6.7ポイント、「避難場所や経路を確認している（20.2%）」は6.3ポイント低くなっています。